滋賀自治労連ニュース

２０２０年９月３０日
ＮＯ．１７２

〒520-0051 大津市梅林１－３－３０　電話 077-527-5511　メール sigaziti@mx.biwa.ne.jp

滋賀自治労連第57回定期大会

オンライン！

新型コロナウイルスを克服し、憲法が生きる助け合いの社会を実現しよう！
健康で安心して働き続けられる職場を実現し、住民の命と暮らしを守ろう！！

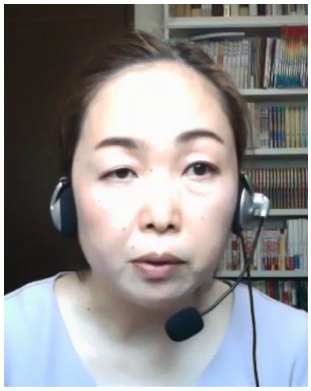
滋賀自治労連は 9 月 26 日、第 57 回定期大会をオンラインで開催し、2020 年度の新役員体制と運動方針を確立しました。コロナ禍のもと、初のオンライン開催となりましたが、各単組・部会から多くの仲間が参加し、積極的な討論で交流する機会となりました。各代議員の発言の要旨を紹介します。

１３：３０～１６：１０　出席代議員２３/３４
大会議長　谷田代議員（滋賀県職）
議事運営・資格審査委員長　大久保代議員（栗東市職）
選挙管理委員長　佐伯執行委員（栗東市スポーツ協会職組）
大会書記　岡﨑代議員（自治体一般）
司会進行　波川書記次長（豊郷町職労）

谷田議長

大津市労連

こんな時だからこそ、組合の姿みせて頑張りたい！


前川代議員

前市長が推し進めようとした主任級昇任試験導入は白紙撤回させた。学校用務員の大幅な民間委託拡大の問題では、雇止めを阻止するとともに、当初示されていたパートタイム会計年度任用職員での提案をフルタイム勤務にまで押し戻した。当面の課題としては、大津市民病院での医師・看護士等への負担の軽減や不足する防護服の補充、特殊勤務手当の増額を求めている。コロナ禍のもと組合の会議や運動の在り方が大きく変わったが、例えばフレックスタイムや時差出勤で夏の冷房の運転時間の延長を実現してニュースで知らせたところ「コレって組合のおかげなんですね」と声をかけられる場面もあり、こんな時だからこそ組合の頑張っている姿を見せて組織拡大と要求実現を頑張りたい。（大津市労連　前川代議員）

滋 賀 県 職

知事のリーダーシップで事業仕分を示せ！
国スポ予算の見直しを！！

嶋林代議員

保険所の数、専門職の数は最盛期から大きく後退している。これまで職員組合は、この体制では何か起きた時に何もできないと当局に指摘してきた。人事当局が提唱した優先順位の事業仕分も、現場任せでは誰もが自分の仕事を一生懸命頑張るので逆にしんどくなっているのが実態。こういう時こそ知事のリーダーシップで優先順位を明確に示すべきだ。コロナのもとで予算も人もいない中、国スポ予算は聖域のまま。ここにこそメスを入れるべき。労働条件では、今まで小学校入学と同時に部分休業等が一切なくなり退職を余儀なくされる職員が沢山いたが、女性部を中心に強い想いと運動で小１の壁を破り、小学校３年生まで育児部分休業に準ずる無給の特別休暇「子育て支援時間」を創設することができた。（滋賀県職　嶋林代議員）

日野町職労

教え、教わり、議論し、施策をつくりあげる職場体制こそ！

清水代議員

3 月に春闘要求、6 月に夏季要求を提出し、町長交渉を実施。組合員の生活実態に照らして更なる賃金アップと、中途採用者の前歴換算による同一年齢同一賃金の賃金格差の改善要求を進めるとともに、人員増と適切な人員配置を求めてきた。特に専門職では、将来にわたる業務の継続や充実のため、「教え、教わり、議論し、施策をつくりあげることのできる職場体制の整備が不可欠」と訴えてきた。近年では青年層の割合が高くなっているが、採用だけではなく組織全体の体制整備も重要。また、職員が休める環境づくりの重要性も指摘し、夏季交渉では夏季特別休暇を 3 日から 5 日に拡大できた。みんなが喜んだ。（日野町職労　清水代議員）

栗 東 市 職

職員組合でマスクを配布
みんなが働きやすい職場づくりこれからも！

大久保代議員

本来なら新規採用職員向けの歓迎会をつるつもりだったが、コロナの影響でできなかったこともあり、職員組合で市職員にマスクを配布した。ひと箱でだいたい 2～3 ヶ月もつので、なかなか好評だった。青年部でも独自にマスクの配布を検討している。

大津市労連
学童労組

子どもたちのための児童クラブは、
フルタイムでなければ実現できない！

竹中代議員

昨年度まではフルタイムの嘱託職員として勤務していたが、全員がパートタイムの会計年度任用職員になった。それに伴い開所時間も 11 時からになり、本当に保育が必要な子供たちを 11 時からしか預かれない。感染リスクと隣り合わせの危険な状況のもと、施設や遊具の消毒など、子どもたちに「マスクして～」「手を洗って～」と、本来の温かい言葉がけよりも先に、消毒・防疫業務に追われている。今年度からは保育経験が全くない人を、いきなり 7 時間で任用する事態も起きている。これまでの本来業務だけでも勤務時間が減らされたことで回らないのに、コロナ対応、未経験者の人材育成、会計年度任用職員同士で人事評価をする業務、保育料の減額や免除書類等の実務などで職場は混乱し、子どもたちのための児童クラブになっていない。目先の給料はとりあえず上がったが、この先 10 年 20 年 30 年と働き続けられるものではなく、将来有望な若手指導員も沢山退職し、指導員の高齢化は深刻だ。（大津市労連　竹中代議員）

青　年　部

職場の青年に声をかけ、親組でも青年部活動を紹介してほしい

小山代議員

昨年 10 月の青年部総会では「働き方改革」の勉強会をグループワーク形式で行った。参加者一人一人が考え発言できたのがとても良かった。共闘青年部幹事会はコロナの影響で休止状態だが、青年未来プロジェクト（青プロ）に向けて再起動が必要だと感じている。昨年 12 月に近畿ブロック青年部で取り組んだクリスマスパーティは、青プロのプレ企画の位置づけだったので、全体で 92 人が参加して例年以上に盛り上がった。しかし、6 月の本番はコロナで中止となった。今年は 12 月にプレ企画を開催し、来年の 5～6 月に開催する方向で議論が進んでいる。青年部の更なる活性化のために、親組のみなさんには、ぜひそれぞれの職場の青年に声をかけ、青年部の活動を紹介してほしい。（青年部　小山代議員）

清水前委員長勇退
７年間お疲れ様でした&ありがとうございました

執行部の提案で秘密裏に企画されたサプライズイベント「みんなで清水さんを泣かせよう作戦」は、無事大成功しました。泣かせることはできませんでしたが、ご本人だけではなく、参加者全員に喜んでいただけました。急な提案にもかかわらずご協力いただいた皆様に、執行部一同心より感謝申し上げます。

【日野町職労のみなさんから花束が】

栗東市職のみなさんからの「あいうえお作文」
し・・・清水さんのおかげで
み・・・みんな働きやすい職場になりました
ず・・・ずっと元気でいてください

清水さんの思い出は、いつも柔和な笑顔。一番の思い出は病院の問題での労基署告発と記者会見をしたこと。「記者会見するぞ～」と言ったあと行動まで一気に行く姿を見て、「委員長として前に立って引っ張って行っていただける人だなあ」と思った。同時に、「本当にこれについていけるのかなあ」とちょっと心配した。（笑）（県職　山本）

僕は 28 入庁ですけど、高島の土木にいた頃からよく職場に来てくれました。「あぁ、一人一人をみてくださっている。こういう人が県庁にいてくれて本当に心強く、僕ら安心してしごとできるんやなぁ」って思って、噛みしめながら仕事ができました。本当にありがとうございました。（県職　小山）

専従 8 年目。ずっと清水さんと一緒にやってきたのかなぁという気持ちです。特に滋賀自治労連で取り組んでいただいた課題の多くが大津市労連に関わる内容だったと思います。大津市人事給与構造改革、市民病院の課題、本庁舎前の宣伝行動はじめ我々の声に丁寧に耳を傾けてくれました。本当に心強くバックアップしていただき、運動を進めることができました。これからも外からの立場で、ご助言や、お気軽に大津市労連にお立ち寄り頂ければと思います。ありがとうございました。（大津市労連　神原）

その他、自治労連近江八幡市職・岡野執行委員からメッセージがあったようですが、マイクの不調により、また別の機会にとご辞退いただく場面もありました。安土文芸の郷職員協議会、彦根愛知犬上広域行政組合、滋賀県社会福祉関係職員労組・甲賀社協パートヘルパー分会からメッセージが寄せられました。

新旧委員長交代
清水前委員長から杉本新委員長へつなぐバトン

こんなにほめてもらえるんなら、もうちょっと続けようかなぁ。（笑）でも、新しい委員長として、私以上の杉本さんが選任されましたので、安心してあとを任せられるとほっとしているところです。私自身労働組合の役員として 40 年くらいやってきた気がします。公務という仕事を自分のものとして全うして行けるという点では、本当に労働組合の役割は大事だとつくづく思いましたし、役員をやらせていただいて、職場の 1 公務員ではできない経験や学びを、皆さんのおかげでさせていただけたと思います。常に自分にとって後悔をしない歩みをしてきたという点では、皆さんのおかげで何とか全うできたと思います。力足らずなところもあったと思いますが、どこまで組合員さんのお役にたてたのかという点では申し訳ないところもありますけれど、杉本さんに引き継いでいただいて、この今の、弱者ほどつらい思いを強いられる社会を変えていくために、自分なりにできることを、長浜の方でやっていきたいと思っています。また新しい付き合いが、皆さんとできることに誇りをもってやっていきたいと思います。引き続き頑張ります。今日は貴重な時間をありがとうございました。（清水前委員長）

杉本新委員長の就任あいさつで団結がんばろう！

コロナウイルスが蔓延して 8 ヶ月が経過しようとしています。その中で職場のみなさん、本当に疲弊しています。こうした状況だからこそ、公務公共サービスは自治体直営と正規職員増で拡充していかなければならないと思っています。やはり住民や利用者の命・健康だけじゃなくて、職員の命・健康も守っていくのが事業者なり当局の責任だと思っています。今こそ公務公共サービスの直営・正規で、必要な人員は非正規職員を正規化する、委託業務を直営に戻すという運動が大事だと思っています。一方で大きな打撃を被っているのが地域経済であり、コレを立て直すのが急務になっていると思います。今年の最低賃金は据え置きということで決着したが、その中で唯一使える公益委員の見解というのが出ています。その中に入っているので一つ紹介したいと思います。

感染症の厳しい影響下にあっても、賃金引上げが可能な企業にあっては、賃上げに前向きに取り組むことを通じて可処分所得の継続的な拡大と、将来の安心の確保を図ること。さらに消費の拡大につなげるという経済の好循環を継続拡大させることや、非正規雇用労働者の処遇改善が社会的に求められることに応じていくことが望ましい。ということです。

やはり公務公共部門というのは、一番賃金の拡大などに責任を持ってやっていくべきところだと思っていますので、地方自治体とか公社とか事業団、公務公共事業者が積極的に賃上げ、そしてとりわけ非正規労働者の待遇改善に取り組んでいくことが重要だと思っています。そしてこの 10 月には労働契約法の 20 条裁判の最高裁判決が予定されています。この判決が出れば、公社や事業団については労働契約法が適用されていますので、不合理な格差については直ちに是正せよという運動が必要になってきます。こういうことも引き続き取り組んでいきたいと思っています。この秋季年末闘争では、公務公共サービスの拡充、公務公共労働者の賃上げで景気回復が大きなテーマだと思っています。この運動を全県的に取り組んで、この滋賀県経済を回復させていきたいと思っていますので、みなさんのご協力宜しくお願いしたいと思います。ともに頑張りましょう。

公務公共サービスの拡充と労働者の賃金底上げで景気回復をめざして、滋賀自治労連団結ガンバロウ！

【新役員体制】

執行委員長	杉本　高（新）	滋賀県職員組合
副執行委員長	林　秀一（再）	自治労連近江八幡市職員組合
〃	音羽　寛之（新）	日野町職員労働組合
〃	小川　康子（再）	安土町文芸の郷職員協議会
〃	神原　裕寿（再）	大津市職員労働組合連合会
〃	小杉　恭也（再）	豊郷町職員労働組合
書記長	小川　治彦（再）	大津市職員労働組合連合会
書記次長	波川　尚志（再）	豊郷町職員労働組合
財政部長	児玉　崇（新）	滋賀県職員組合
執行委員	谷田　誠（新）	滋賀県職員組合
〃	宇田　むつみ（再）	大津市職員労働組合連合会
〃	清水　和人（新）	日野町職員労働組合
〃	井沢　多郎（新）	栗東市職員組合
〃	不破　亨（新）	栗東市職員組合
〃	岡野　道博（再）	自治体一般ユニオン
〃	佐伯　英樹（再）	栗東市体育協会職員組合
〃　女性部	部会の選出による	
〃　現業評	山下　邦雄（再）	大津市職員労働組合連合会
〃　青年部	部会の選出による	
会計監事	江口　辰之（再）	大津市職員労働組合連合会
〃	横山　のりこ（新）	日野町職員労働組合
〃	世古　淳（再）	自治労連近江八幡市職員組合